

組織的な大学院教育改革推進プログラム「理系の実践型女性科学者育成」
博士前期課程・キャリア形成科目 女性先端科学者セミナー I

電磁波を用いた 文化財の科学調査

日時：2011年1月27日(木) 14:40～16:10

講師：福永香氏(情報通信研究機構)

場所：奈良女子大学 理学部 G棟 302 教室

概要

文化財を次世代に伝えるには、自然劣化、人為的損傷等を修復し、適切に保管(展示)する必要がある。修復は医療に似て、まず対象を観察し処置方針を決め、短時間で回復させ、再発を防ぐ。文化遺産の観察は「非破壊非接触」の調査が望ましく、なかでもミリ波、テラヘルツ波といった光と電波の中間の周波数の電磁波を用いる手法が注目されている。本講演では、マイクロ波からX線までの電磁波を用いた文化財の調査全般を紹介するとともに、テラヘルツ波による内部構造の観察例について、国内外の文化財の調査例を用いて紹介する。



対象学生以外の博士後期課程学生や学部学生、教員の方の聴講も歓迎致します。

お問い合わせ先 城和貴 joe@ics.nara-wu.ac.jp